取扱に関するご注意 ⚠

■本製品は室内用です。屋外のほか、浴室などの水がかかったり湿度が高くなる場所には取付けないでください。部品の腐食による破損で、ケガをする恐れがあります。

■レバーハンドルシリーズは、セット販売となっております。他社パーツとの組合せによる不具合には、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■取付けられる扉
- 室内軽量木扉（25kg以下）
- 扉厚33〜40mm
- 既存の扉の場合、取付説明書に記載されている切カキ寸法で穴開け、掘込加工されているか、又は指定寸法に変更可能であること
- 新設扉の場合は、取付説明書に記載されている切カキ寸法で穴開け、掘込加工が可能であること
- フラッシュ構造の扉の場合、切カキ加工を行う部分に木下地があること

■表示・間仕切装置を取付けられる場合は、装置取付ビスを締め過ぎないでください。強く締め過ぎると装置の装着が困難になったり、装着後の作動不良の原因になります。また取付ビスが折れる場合がございます。手締め、又はインパクトドライバーなどの電動工具をご使用の際は締め込みトルク1.5N.m以下で固定してください。

お手入れ方法

■水又は薄めた中性洗剤を含んだやわらかい布で拭いて下さい。
■アルコール、シンナー等の有機溶剤や酸性、アルカリ性の洗剤、クレンザー等の使用は変色、材質劣化の原因となりますので、避けて下さい。
■金属たわしやナイロンたわし等は、傷がつくので使わないで下さい。

レバーハンドルの調整方法

■レバーががたつく
- ケースの固定は充分ですか？
  ①フロントの②ネジに緩みがないか確認してください。
- ケースがしっかりと入っていますか？
  切欠きが間違って空いている（大きい）と③ケースがズレてがたつく場合があります。
- ④丸座樹脂ベースと③ケースが一緒にがたついていませんか？
  レバーを取り外し、④丸座樹脂ベース⑤取付ネジを締め直してください。
- ⑥レバーの⑦締付ネジが緩んでいませんか？
  ⑦締付ネジが緩んでいたら十字ドライバーで締め直してください。

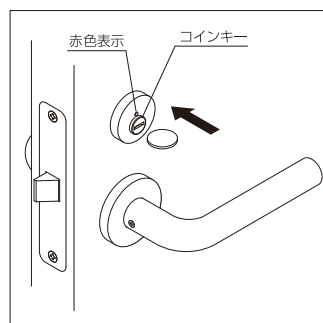
■レバー・サムターンがきつい
④丸座樹脂ベースやサムターン取付座のネジを締めすぎていませんか？
ネジの締まり具合を確認してください。

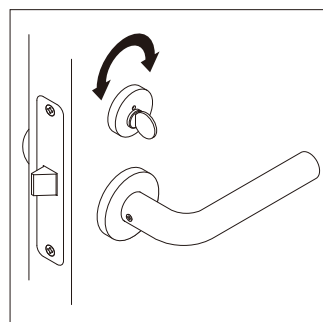
※④丸座樹脂ベースのネジが締め始めからきつい場合、角芯が座のセンターからずれていることが考えられます。取付座位置を調整しながら締め直してください。

■サムターンが回らない
⑧ラッチが完全に出て⑨ストライクに収まっていますか？
ドアを閉めた状態で⑧ラッチが⑨ストライクに完全に収まっているか確認してください。
収まっていない場合、⑨ストライク位置を調整してください。

※スライド調整式ストライクは、上下のネジを緩めると樹脂部分が左右に動かせます。

解錠の手順（緊急時）

室内側から鍵がかかっていて室外側より解錠したい場合は、下記の手順で解錠してください。

1

施錠されている場合は、下図のような状態になっています。コインキーの溝にコイン、またはマイナスドライバーを入れます。

2

コインキーを回し、垂直にすると解錠されます。

お問い合わせ：株式会社ユニオン
大阪:06-6532-6273　東京:03-3630-2171